

「ミニ・ミュンヘン」は2年に1回、夏休み期間中の約3週間、ドイツ・ミュンヘンのオリンピック競技場内の自転車スタジアムで開催されています。参加できるのは7~15歳の子どもたちです。「ミニ・ミュンヘン」には市役所、ハローワーク、銀行、新聞社、レストランを始め多種多様な仕事があって、労働体験を楽しむことができます。さらに、市長選挙や市議会議員選挙も行い、子どもたちによる魅力的な都市運営をめざしています。「ミニ・ミュンヘン」は、子どもが自主的に遊びと学びを育むこどもの居場所になっています。

高知でも、「ミニ・ミュンヘン」を参考にして、2010年3月春休みに「とさっ子タウン」を開催するよう、現在、実行委員会形式で検討を進めています。

今回、「ミニ・ミュンヘン」を主催するゲルト・グリユナイスルさんをゲストにお招きして、楽しいお話を聞かせていただけることになりました。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

参加費無料

(定員200名)

参加申し込み
締め切り

11月22日(土)

こどもが運営する遊び都市

mini ミニ・ミュンヘン
münchen

●ゲスト

ゲルト・グリユナイスル (Gerd Grueneis) さん

- 日時 2008年11月26日(水)午後7時~9時
- 場所 高知市文化プラザ「かるぽーと」小ホール
- 主催 高知市市民活動サポートセンター
「とさっ子タウン」実行委員会
特定非営利活動法人NPO高知市民会議



ゲルト・グリユナイスル NPO「文化と遊び空間」代表

1944年生まれ。ミュンヘン美術大学卒業後、美術教師を経て、74年に「ペダゴギッシュ・アクション(教育行動)」を友人と共に設立。プレーバスで知られる斬新な遊び場活動を展開。以後、学校外での遊びの場として芸術と教育と日常生活の文化を統合させた「文化教育」の道を探る。活動の拡大により、当初の設立メンバーは3つのNPOに分割、グリユナイスル氏が率いる「文化と遊び空間」がミニ・ミュンヘンを継承。他のプログラムでも、ミュンヘン市と連携しながら、子どもの遊びの世界を広げるユニークな活動を展開している。